

・園主あいさつ・

須佐之男と稲田姫の物語が息づき、戦国にあっては要害山に陣取った三沢を巡って、また良質な砂鉄から「たたら製鉄」によって生まれる玉鋼を巡って尼子と毛利が戦った、斐伊川中流部、奥出雲に、「石照庭園」を開きました。

広島空港「三景園」、東京「椿山荘庭園」など、数々の日本庭園を手がけた巨匠、伊藤邦衛先生が設計されました廻遊式庭園です。園内の石照寺は古来より、聖観音菩薩像・薬師如来像、弘法大師を勧請しています。

庭園は総面積2ヘクタール。エントランスには50tの岩があり、来園者を迎えます。森から流れる滝、広がる池泉には島を配置。背景にある森には1万本のシャクナゲと、数千株のエビネ蘭が植わる散策道を整備、往時のたたら製鉄跡もあります。

6月には400種の花しょうぶが迎え、秋の紅葉とともに、四季それぞれを彩る美しさは、ならではの醍醐味を満喫させてくれます。山里の憩いとふれあいの場として、石照庭園は訪れる人々の心を和ませてくださいよう。

奥出雲 石照庭園 園主
堀江洋伸



石照庭園

Seki-Shou Garden

奥出雲

四季を彩る美しさが楽しめる
奥出雲の廻遊式庭園



春

シャクナゲ・シャガ・エビネの開花
【4月下旬～5月中旬】

夏

花しょうぶの開花
【6月上旬～下旬】

秋

10月下旬からは
紅葉が楽しめます

冬

雪景色による山水画の世界
【1月～2月】



神やどる奥出雲、理想の楽園 奥出雲・石照庭園

石照庭園設計監理 伊藤 邦衛

日本人の自然観や美意識によれば、日本庭園とは人々の理想の楽園、つまり物語風にいえば桃源郷であるといえるでしょう。

こうした日本人の好みは、絵画における山水画や景勝地への旅を綴った古典紀行文学などにも見られます。

廻遊式庭園の手法も、風光明媚な海山里の感動的風景を、写景、借景、縮景によって写し、その中での歩みと休息、鑑賞と思索を小さな旅として演出する手法で、庭はそのための美しい舞台装置といえるでしょう。

この庭も、出雲という、神やどる自然と文化を持つこの地に生まれ育った堀江さんの夢を形にすべく、山から海への滝、溪流、池という水の流れ、自然の型を舞台に、海山里を旅し、人里に集い行き交う人々の歩みと安らぎを演出しています。



⑤ モリアオガエルの滝

シャクナゲの山腹から、岩をつたって滴る滝。初夏にはモリアオガエルが顔をのぞかせることも。観られているのはどっち？



⑥ 数寄屋造りの別棟

切り出した木々とこたわりにより本建築から、苔の庭が楽しめます。



① 一万株のシャクナゲ

園主が一株一株を手植えていったオキシャクナゲを中心とした和シャクナゲの花々。春には花の道に変わります。



石王山散策道(30分)

日本庭園は背景の自然とのコントラストで成立します。当園は借景と呼ばれるその自然に踏み込み、木々に触れることができます。季節ごとに変化する緑を五感で味わってください。



② 石照寺・聖観音菩薩像

聖観音菩薩、薬師如来、弘法大師が、先代の坐像とともに訪れる人と里を見守ります。堂は名工稻村重清氏の作。釘を使わず、木組みによって造られています。



③ 第一の滝

山肌に巨石を組み上げた第一の滝。



④ 土橋

10月下旬から11月は日々移り深まる紅葉が見渡せます。





造られた棟。本格的な日



7 ケヤキの大木

樹齢300年以上、何本かの幹がくっついていてます。圧巻。



8 エビネランの道

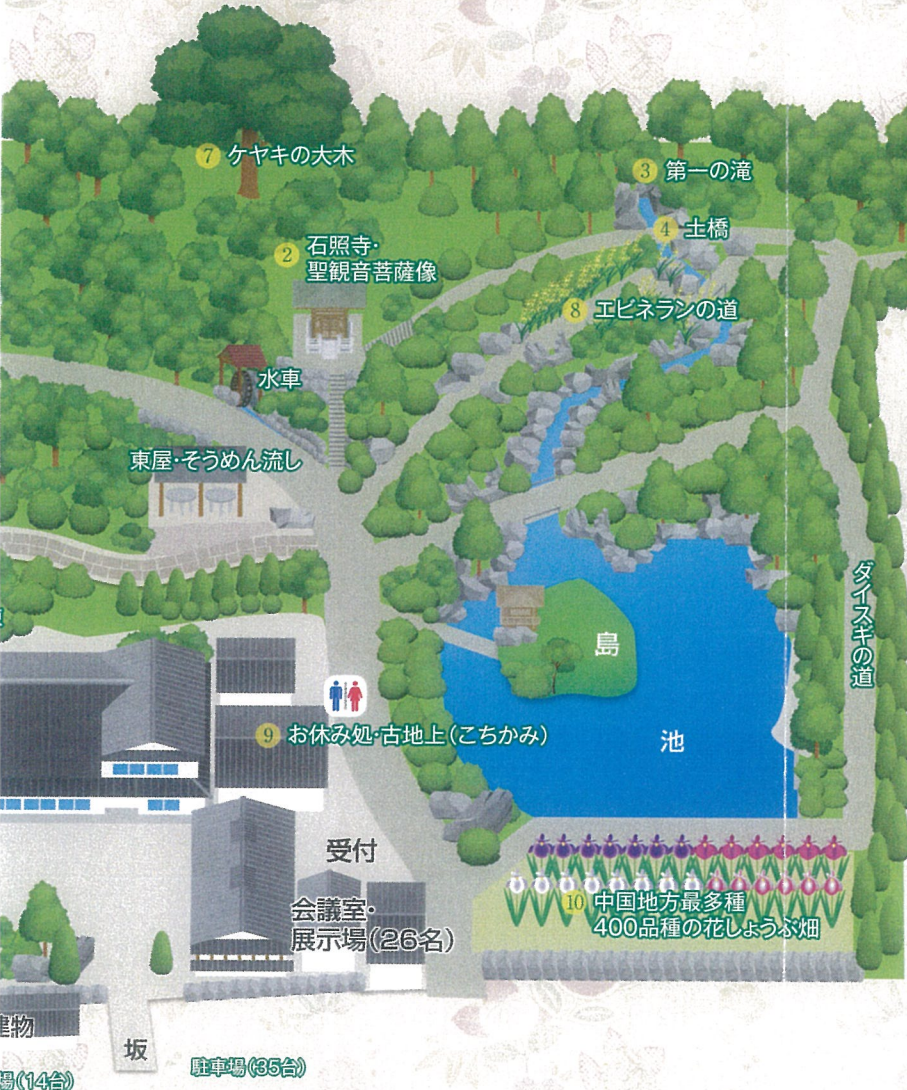
山中に可愛く咲く地エビネ、黄エビネの数々。初夏の散策道を彩ります。



9 お休み処・古地上(こちかみ)

ゆっくり散策したあとは、憩いの庵(いおり)古地上(こちかみ)で一服はいかがですか？
吹き抜ける風に四季ごとの匂いを感じながら。

- 喫茶: 抹茶(お菓子付き) 500円、各種ドリンク300円より
- お食事(要予約):
- ・松花堂弁当、1320円・1650円・2200円(税込) ご用意しています。



10 中国地方最多種400品種の花しょうぶ畑

毎年6月に、20aの畑に所狭しと咲く花々を楽しめます。



花しょうぶ販売サイトへは
こちらから

・お部屋・

数寄屋造りの別棟「近江屋」。名工稲村重清氏の設計施工によって1986年に完成、背面に苔庭、正面に滝を配置し、山からの風と気を受けながらひとときを過ごしていただけます。ご利用は要予約。



・お食事・

園内ご休憩所「古地上(こちかみ)」、別棟「近江屋」にてお食事・喫茶をご用意しています。ご家族お仲間、また奥出雲での会合・会議(数名様から30名様)にご利用ください。



近江屋(別邸利用料込の食事プラン3800円)
松花堂弁当(左、例)、1320円、1650円、2200円(税込)をご用意しています。

・お茶席・

茶懷石とは、抹茶をおいしく味わう上での一汁三菜を基本にした和食コース。別棟「近江屋」にて、細川三斎流影山勉氏による懷石をご提供しています。滝と苔庭を眺め、本格茶懷石のひとときをご堪能ください。



・アクセス・



- 所要時間**
- 飛行機 ✈ 東京から1時間15分、大阪から1時間
出雲空港から車で40分(米子空港1時間15分、広島空港2時間)
 - 自動車 🚗 広島から2時間、三次東インターから1時間15分
三刀屋木次インターから25分
松江から50分、出雲から50分
 - J R 🚆 新大阪(新幹線、特急やくも)から松江まで4時間
- 入園料金** 大人600円(20人以上500円)
中高生350円 小人250円
- 開園時間** 午前10時～午後4時
- 定休日** 水曜日(シャクナゲ・花菖蒲5月~6月、紅葉の11月は無休)
冬期(12月中旬～3月中旬は要予約)
- 駐車場** 有(49台/大型バス駐車可)

奥出雲 石照庭園

〒699-1342 島根県雲南市木次町平田472
TEL 0854-48-0033 FAX 050-6868-4369

www.sekisho-teien.com

